



### アオイガイ (カイダコ)

*Argonauta argo* Linnaeus, 1758

亜熱帯～温帯の暖かい海で浮遊生活をおくる、石灰質の薄い殻をもつタコ、アオイガイ。

対馬暖流に乗って北海道まで流されてきて、秋、砂浜に殻が漂着しているのを見つけることがあります。きれいな殻に魅せられて、海岸を探して歩く人たちもいます。

## アオイガイが、また消えた!?

昔は石狩の海岸で見られることはめったになかったアオイガイですが、2005年ごろから殻の漂着が見つかることが増えてきました。

漂着の数と石狩湾の海水温とを比較してみると、水温が高い年にはたくさん漂着していることもわかってきました。特に高水温だった2010・2012年には、石狩周辺で300～500個ものアオイガイ殻の漂着がみつかったほどです。

本来は暖かい海の生物だから、海水温が上がれば北までやってくるのは、当然、うなずけます。

ところが…

2010年代の後半に入ると、一

転します。アオイガイ漂着が、ガクンと減ったのです。海水温はどんどん上昇しているのに。

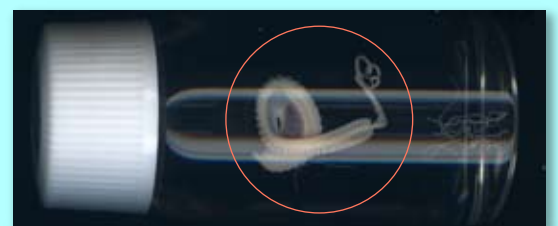
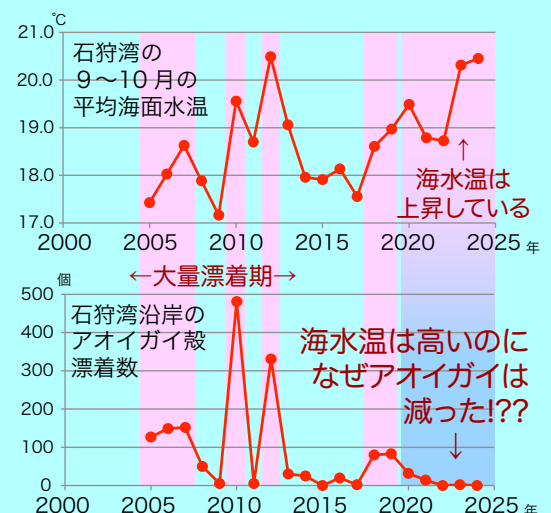
原因は、不明です。対馬暖流が弱くなったのか、アオイガイそのものの数が減ったのか、誰かがごっそり拾いつくしているのか。

いま考えているのは、冬の北西季節風が弱くなった?という可能性です。冬が近づくと、シベリアの寒気による季節風が、北海道の日本海側に吹きつけます。もしもその風が弱くなれば、海岸に吹き寄せられる漂着物も、減ってしまうのでは…?

今、過去のデータを再検討しているところです。

(志賀 健司 しがけんじ)

★アオイガイの情報を集めています。見つけた方は教えてください!



極めて「レア」な標本「カイダコ交接続」。大量のアオイガイ殻とともに、資料館で展示しています。

## 2026年1～3月の展示・講座

### テーマ展

#### 資料館のお宝2026

市民のみなさんから寄贈していただく資料は、資料館のお宝、石狩のお宝。ヤツメウナギを獲った漁具、横綱 吉葉山ゆかりの品など、この1年間にいただいたものを、展示で紹介します。



- 期間 1月4日(日)～3月30日(月) ※火曜休館
- 場所 いしかり砂丘の風資料館
- ※資料館の入館料が必要です。(大人300円)

### サテライト展

#### 海浜ホテル

2024年に資料館20周年企画として実施した、これまでのテーマ展ポスター人気投票で、第1位を獲得した「海浜ホテル」。もう一度、そのミニ展示を市民図書館でお見せします。



- 期間 2月3日(火)～2月15日(日)  
(※2/9・12は会場(市民図書館)が休館)
- 時間 市民図書館の開館時間(曜日で異なります)
- 場所 **石狩市民図書館** 閲覧室  
(石狩市花川北7条1丁目26)
- ※図書館の入館・見学は無料です。



#### バス路線、廃止

札幌中心部や石狩市役所・図書館周辺から資料館に行ける唯一のバス路線、中央バス石狩線が2025年12月で廃止となりました。今後は代替交通「本町花川線」「いつモ」をご利用ください。(※要予約。詳しくは石狩市役所のホームページをご覧ください)



\*\*\*\*\*編集後記\*\*\*\*\*  
路線バス、札幌から石狩まで、窓外の景色から自然や歴史を楽しめました。いつか「バスの窓から石狩タイムトラベル！」みたいな解説パンフを作ろうと思ってたのに…。(けん)

#### いしかり砂丘の風資料館

- 開館時間 午前9時30分～午後5時00分
- 休館日 毎週火曜日(祝日の場合はその翌日)、年末年始
- 入館料 大人:300円、中学生以下:無料  
団体料金240円(15名以上)
- 交通 中央バス石狩線は廃止になりました。  
代替交通機関をご利用ください。(※要予約)

### 連続講座

#### 石狩大学博物学部

石狩の自然や歴史の最新トピックを、資料館の学芸員が紹介します。全4科目を開講し、1科目だけの受講もOK!

★いしかり市民カレッジ、道民カレッジ連携講座

- 日時 ①②1月24日(土)、③④2月7日(土)  
13:00～15:00(両日とも)
- 場所 花川北コミュニティセンター  
(石狩市花川北3条2丁目198-1)
- 定員 各科目40人(申込順) ■参加料 無料
- 申込 開催前日までに電話で資料館へ  
(0133-62-3711)

#### 1/24(土)

##### ①石狩考古学

紅葉山33号遺跡出土の漆塗り弓(文様入り)(荒山千恵)

新たに石狩市の市指定文化財となった約2000年前の「漆塗り弓」の魅力と不思議に迫ります。



##### ②石狩歴史学

石狩の古地図(2)(工藤義衛)

地図は情報の精度や目的によって違います。古地図から和人がどのように石狩を把握していたか読み解きます。



#### 2/7(土)

##### ③石狩民俗学

石狩市内の宗教施設3  
浜益地域の神社分布(坂本恵衣)

浜益地域の神社の分布について、祭神や当時の神社の社格など、概要をご紹介します。



##### ④石狩海辺学

石狩湾「寄り鯨」論(志賀健司)

寄り鯨とは海岸に打ち上がるクジラ・イルカのこと。石狩の寄り鯨たちは何を教えてくれる?



## エスチユアリ No.74



2026年1月20日発行

いしかり砂丘の風資料館

〒061-3372 北海道石狩市弁天町30-4

tel: 0133-62-3711 fax: 0133-77-5011

bunkazaih@city.ishikari.hokkaido.jp

<https://www.city.ishikari.hokkaido.jp/museum/>